

ICTを活用した救急活動を実証実験中

～1分1秒でも早く病院へ搬送するために～



北九州市消防局では、TXP Medical株式会社が提供するシステムを活用し、病院搬送時間の短縮による**患者の負担軽減**や業務の効率化による**救急隊員の労務負担の軽減**を目的に、市内にある医療機関のご協力のもと、実証実験を行っていますのでお知らせします。

なお、このシステムが本格運用されれば、**九州で初めての取組み**となります。

1 実証実験期間

令和5年4月25日（火）から令和6年3月31日（日）まで（予定）

*現在11隊の救急隊が実証実験中であり、年内には全救急隊で実証実験を行います。

2 内 容

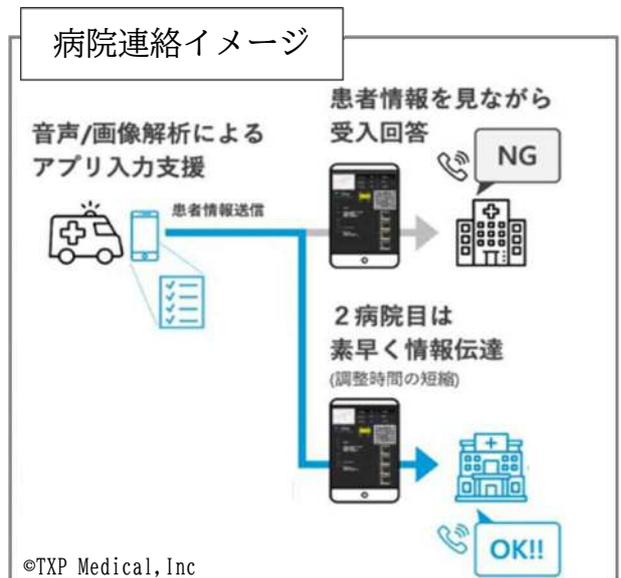
内 容	現 状	実証実験	効 果
① 患者情報記録方法	手書き で作成	音声入力・画像OCR 機能を搭載した タブレットで作成	救急現場での 活動時間短縮
② 病院への患者状態説明	電話 で説明	タブレットで入力 必要に応じて怪我の 写真等データ送信	病院との情報共有が 容易で迅速・確実に
③ 活動報告書作成方法	活動終了後、 手書きの記録を 確認しながら作成	①②で タブレット に入力した情報を 活用 して作成	救急隊の 労務負担軽減

3 協力企業

TXP Medical 株式会社

代表取締役医師：園生 智弘

「医療データで命を救う」をミッションに、医療現場でのデータの分断という課題を解決するため、各自治体における救急医療から病院製薬の臨床研究の一気通貫したサービスを提供する企業



4 問い合わせ先

北九州市消防局救急課：水迫、三瀬（093-582-3820）